

# 2012 年度事業報告

自:2012 年 4 月 1 日

至:2013 年 3 月 31 日

## I. 概況と活動総括

2012 年度は、国内の自動車製造業や金属製品製造業が好調であったが、中国・インド・ブラジルなど BRICS 諸国が不振となり、鍛圧機械の受注総額は 2714 億円、前年度比△14.3%減となり、特に 1~3 月度の落ち込みが厳しかった。輸出比率は 53.6% に低下した。ただ板金系は比較的堅調さを維持した。

各委員会や各部会にて 2012 年度重点課題に取り組みました。

- ① MF 技術大賞 2012~2013 の選考委員会により、5 製品 9 社が受賞され、1 月 11 日、表彰式を行い、クリスタル盾と副賞を贈呈いたしました。
- ② MF エコマシン認証制度を 2000 年生産機比 15% 以上の省エネ基準にバージョンアップし、2013 年から全面適用としました。2012 年 MF エコマシン販売実績 1406 台 平均省エネ率 52.1% (2000 年生産機比)となりました。
- ③ ISO/TC39/SC10/WG1 プレス機械の安全規格について、原案提案等、積極参加しています。
- ④ ISO/TC39/WG12 金属加工機械の環境性能測定方法についても、MF エコマシンの基準を提案し積極参加しています。
- ⑤ MF スーパー特自検制度の創設に向け、チーム活動を展開しています。
- ⑥ JIS 改正原案策定委員会で「用語と記号」の改定活動を開始しました。
- ⑦ ファイバーレーザ加工機の安全要求事項の工業会規格策定に向け活動しました。
- ⑧ 機械危険情報の通知方法などの講習会を実施しました。
- ⑨ MF-Tokyo2013 プレス・板金・フォーミング展の出展募集を開始し、出展 198 社団体(前回比 +50 社増)、1059 小間(前回比 +168 小間増)で開催され、目標 35,000 人の来場を目指しています。日本塑性加工学会の大きなご支援のもと、盛大な展示会が期待されます。会員の 71% が出展されます。
- ⑩ 「東京機器厚生年金基金」からの脱退を 2 回申請(通算 6 回)いたしましたが、9 月は否決され、3 月は審議未了となりました。今後とも解散要求も含め脱退申請いたします。
- ⑪ 公益目的支出計画を終了し「普通の一般社団法人」となりました。(内閣府の主務官庁が終了)

## II. 総会・理事会・委員会・部会の活動

(総会・理事会は移行後の通算回数表示、委員会等は2年任期での通算回数表示です。)

### 1. 総会(議長・高瀬孔平代表理事長／住友重機械テクノフォート 1 回開催)

第4回定時総会(5 月 17 日) 芝パークホテルにおいて開催

議事① 2011 年度事業報告書(報告)

- ② 2012 年度事業計画書並びに正味財産増減予算書(報告)
- ③ 2011 年度公益目的支出計画実施報告書(報告)
- ④ 2011 年度決算書の承認(決定)

- ⑤ 理事 1 名の補充選任(決定)
  - ⑥ 会費及び入会金規則改定の件(決定)
- 総会終了後、同ホテルにおいて懇親会を開催しました。

## 2.理事会(議長・高瀬孔平代表理事長/住友重機械テクノフォート 6回開催)

第 17 回(4月 17 日) 書面にて開催

- 審議① 2011 年度事業報告書(決定)
- ② 2012 年度事業計画書並びに正味財産増減予算書(決定)
- ③ 2011 年度公益目的支出計画実施報告書(決定)
- ④ 2011 年度決算書(承認)

第 18 回(7月 26 日) 機械振興会館において開催

- 審議① 事務局長委嘱の件(決定／正副会長会参考意見表明)
- ② MF-Tokyo2013 海外集客補助金1千万円来年度予算化の件(決定)
- ③ MF スーパー特自検制度構築の件(決定)
- ④ 会員の社員を教育するコースの設置(フリーディスカッションにて否決)
- ⑤ 各委員長・部会長の活動報告

第 19 回(9月 20 日) 書面にて開催

- 審議① MFエコマシン認証制度の消費電力量基準を15%以上削減(2000年生産機比)に改定。実施時期は2013年1月1日から全機種対象とする。(決定)

第 20 回(11月 6 日) 機械振興会館において開催

- 審議① 特別顧問委嘱(決定)
- ② 顧問推薦基準改定案(決定)
- ③ MF 表彰感謝規則改定案(決定)
- ④ 役員候補者選出基準改定案(審議、'13/3/22 正式決定予定)
- ⑤ MF 技術大賞 2012-2013 受賞製品案(決定)
- ⑥ JIS 改正原案作成委員会(B0111,B6420)の設置(決定)
- ⑦ 会計規則改定案(参考添付 2012 年度上期仮決算と見込)(決定)
- ⑧ 東京機器厚生年金基金第 5 回脱退拒否と今後の対応(決定)
- ⑨ 2012 年度長期日程(各委員会実績報告)

第 21 回(3月 22 日) エイチアンドエフ本社会議室において開催

- 審議① 特別顧問委嘱(決定)
- ② 委員会規則改定(決定)
- ③ 役員候補者選出基準改定(決定)
- ④ 会員入会承認(決定)
- ⑤ 定時総会の回数表示方法(決定)
- ⑥ 2012 年度 事業報告案(概要決定)
- ⑦ 2013 年度 事業計画案・予算案(概要決定)
- ⑧ 2012 年度 決算案 (案概略承認,4/9 監査,4/16 理事会書面承認,5/17 総会決定)
- ⑨ 2013-14 年度役員候補者について (正副会長会参考意見表明)
- ⑩ 2012 年度長期日程委員会等実績と 2013 年度の予定 (理事会報告)

## 3.監事監査

2012 年度実績会計監査(4月 10 日) 機械振興会館において開催

平井一憲監事、小森雅裕監事、網野雅章監事の全監事出席で監査実施。

2012 年度中間決算速報(10月 1 日) 事務局にて作成。

**4.正副会長会(議長・高瀬孔平代表理事会長／住友重機械テクノフォート 5回開催)**

第9回会議(5月17日) 芝パークホテルにおいて開催

審議① 会長候補決定方法について(審議)

第10回会議(6月1日) 書面にて開催

審議① 職員採用と事務局長推薦(決定と表明)

第11回会議(11月6日) 機械振興会館において開催

審議① 会長輪番制と緊急時対応方法(決定)

② 特別顧問推薦(表明)

③ MF 功労賞贈呈の受賞者(決定)

第12回会議(2月4日) 書面にて開催

審議① 職員採用(決定)

第13回会議(3月22日) エイチアンドエフ本社会議室において開催

審議① 特別顧問推薦(表明)

② 正副会長会の次期役員候補者(表明)

**5.企画委員会(委員長・岡田正副会長／コマツ産機 4回開催)**

第4回委員会(4月18日) 金沢 コマツ産機において開催

新「鍛圧機械の産業ビジョン」の作成について

第5回委員会(9月6日) 犬山 村田機械において開催

新「鍛圧機械の産業ビジョン」の目標を10年後とする。

第6回委員会(11月8日) 機械振興会館において開催

新「鍛圧機械の産業ビジョン」の検討

第7回委員会(2月1日) 新居浜 住友重機械テクノフォートにおいて開催

新「鍛圧機械の産業ビジョン」の検討

**6.技術委員会(委員長・宗田世一副会長／エイチアンドエフ 管轄計 28回開催)**

(1)委員会 (2回開催)

第3回委員会(7月19日) 機械振興会館において開催

①プレス機械のISO/TC39/SC10/WG1 及び WG12国際規格作成進捗状況

②金属加工機械の環境性能 ISO/TC39/WG12国際規格進捗状況

③改正RoHS指令のLSSITの範囲について

④安衛則改正による「機械危険情報の通知」について

⑤スーパ特自検の提案(承認→理事会へ提案)

第4回委員会(11月21日) 機械振興会館において開催

①プレス機械のISO/TC39/SC10/WG1国際規格作成進捗状況

②JIS 改正原案作成委員会設置について

③MFスーパー特自検策定チーム進捗について

④MFエコマシン認証制度の基準変更など(削減必須電力量 10%→25%→15%)

⑤MF技術大賞の受賞製品について

(2)MFエコマシン認証審議会

(委員長・柳本潤／東大教授、副・布施征男／ESCO推進協議会専務理事 4回開催)

個別認証審議と追加機種の基準作成

第17回審議会(6月12日) 機械振興会館において開催

第18回審議会(9月13日) 機械振興会館において開催

第19回審議会(12月11日) 機械振興会館において開催

第20回審議会(3月12日) 機械振興会館において開催

(3)MF技術大賞選考委員会と予備部会

- (委員長・石川孝司／名大教授、部会長・柳本潤／東大教授、3回開催)  
第1回予備審査部会(9月4日) 機械振興会館において開催  
第2回予備審査部会(10月9日) 機械振興会館において開催  
MF技術大賞選考委員会(10月29日)機械振興会館において開催
- (4)ISO/TC39/SC10/WG1 対策委員会＝プレス機械の安全国際規格  
(主査・斎藤剛/安衛研主任研究員、  
チーム長・畠幸男/コマツ、副・寺塚幸正/アイダ 6回開催)  
第11回WG1 対策委員会(4月12日) 機械振興会館において開催  
第12回WG1 対策委員会(5月25日) 機械振興会館において開催  
第13回WG1 対策委員会(8月2日) 機械振興会館において開催  
第14回WG1 対策委員会(10月16日) 機械振興会館において開催  
第15回WG1 対策委員会(12月13日) 機械振興会館において開催  
第16回WG1 対策委員会(2月21日) 機械振興会館において開催  
ISO/TC39/SC10/WG1 プレス機械安全規格国際会議 (1回開催)  
第5回 11月12～15日パリ開催 斎藤剛氏と畠幸男氏出席
- (5)ISO/TC39/WG12 対応チーム(チーム長・鈴木利雄/アイダ、副・長澤忠彦/アマダ、  
副・高田政明/コマツ、上野滋博士 4回開催)  
第3回WG12 チーム委員会(4月18日) 機械振興会館において開催  
第4回WG12 チーム委員会(5月15日) 機械振興会館において開催  
第5回WG12 チーム委員会(11月28日) 機械振興会館において開催  
第6回WG12 チーム委員会(2月6日) 機械振興会館において開催  
ISO/TC39/WG12 の金属加工機械(工作+鍛圧)環境評価規格会議(2回開催)  
第4回 4月23～24日 チェコプラハ開催 鈴木長、長澤副、高田副出席  
第5回 2月25～27日 独フランクフルト開催 鈴木利雄チーム長出席
- (6)JIS改正原案作成委員会(委員長;石川孝司/名大教授、副;高橋進/日大教授、  
主査;五十嵐徹/エイチアンドエフ) (1回開催)  
B0111 プレス機械の用語、B6420 プレス機械の記号の改正と範囲拡大  
第1回分科会 (2月27日) 機械振興会館において開催
- (7)機械危険情報(残留リスク)のユーザへの通知方法 (4回開催)  
第1回機械危険情報検討会(8月2日) 機械振興会館において開催  
第2回機械危険情報検討会(9月21日) 機械振興会館において開催  
第3回機械危険情報検討会(10月23日) 機械振興会館において開催  
機械危険情報講習会(11月21日) 機械振興会館において開催  
挨拶 厚生労働省副主任中央産業安全専門官 高橋 洋 氏  
講師 畠チーム長、寺塚副チーム長  
受講者 約50名
- (8)RoHS 対応チーム(チーム長・服部忠信/アマダ、1回開催)  
第1回 RoHS 対応チーム会合(7月20日) 機械振興会館において開催  
その後 チーム長が各種会議に出席し、鍛圧機械の対象外を確認し終了した。
- (9)労働安全衛生法に基づく特定自主検査済標章の販売事業  
中央労働災害防止協会作成の大小標章 48,953枚(前年度 42,119枚)を販売した。
- (10)団体PL保険制度の加入状況  
団体国内PL保険に会員29社が加入、団体海外PL保険に会員22社が加入。引  
受幹事会社は三井住友海上火災保険㈱、代理店ワールドインシュランスプロカース㈱
- 7.調査統計委員会(委員長・白井国康副会長/山田ドビー 2回開催)

### (1)委員会(2回開催)

第3回委員会(7月11日) 機械振興会館において開催。

審議①月次業況調査結果報告日と締め切り時間について

②2012年受注修正予想の審議

③世界統計の開示範囲について

④海外生産の統計について(検討)

第4回委員会(12月12日) 機械振興会館において開催

審議①月次業況調査結果報告日と今後の予定について

②2012年見込及び2013年受注予測の審議

③世界各国の四半期受注統計について

### (2)調査統計の実施

①工業会の受注業況調査の充実

2009年1月から開始した全会員ベース月次受注調査の集計結果は、稼働日ベース6日目で会員にフィードバックする日程が定着した。

②鍛圧機械の世界統計 2000-2012暦年の実績グラフ作成

鍛圧機械の世界各国の生産や金属加工機械(鍛圧+工作)の生産、輸出、輸入、自国内設備の2000-2012年の実績をグラフ化し、統計参加会員に送付。

③国家統計の鍛圧機械部門の集計

(イ)鍛圧機械の生産・出荷統計(経済産業省／機械統計)

(ロ)鍛圧機械の輸出入統計(財務省／貿易月報)

## 8.広報見本市委員会(委員長・片岡博道副会長／アイダエンジニアリング 3回開催)

### (1)委員会(2回開催)

第2回委員会(4月19日) 機械振興会館において開催。

審議①MF-Tokyo2013の日程 2013年7月24-27日

東京ビッグサイト

出展目標小間 1050 小間以上、会員出展率 80%以上、

来場目標 3万5千人以上、うち海外 3%以上

小間の割引制度決定、海外来場者補助金の検討

第3回委員会(12月6日) 機械振興会館において開催。

審議①MF-Tokyo2013の行事や講演等の実施案。

②学会やユーザ団体との連携及び学会セミナー・研究室紹介コーナー開設

### (2)出展者説明会(3月19日) 東京ビッグサイトにて開催。(1回開催)

①MF-Tokyo2013 プレス・板金・フォーミング展の出展要領説明

②MF-Tokyo2013の小間割発表

MF-Tokyo プレス・板金・フォーミング展の概要	出展社数
名称 会期 場所 小間数 会員(参加)単独(内部含)来場者数	
MF-Tokyo2013 7/24-27 東京ビッグサイト東 1-3 1042 60(72%) 188 291 X	
MF-Tokyo2011 8/3-6 東京ビッグサイト東 4-6 891 59(76%) 148 228 29,520	
MF-Tokyo2009 10/14-17 東京ビッグサイト西 1-2 701 61(81%) 112 192 27,162	

### (4)海外展示会の調査

①METALEX 2012-11-21～24 タイ バンコク、

タイ金型工業会会长と松本専務理事会談

## 9.中小企業経営委員会(委員長・白井国康副会長／山田ドビー 1回開催)

中小企業経営委員会と関東地区部会と中部関西地区部会の3部会合同

東北被災地視察研修会(11月16-17日) 参加 7名

仙台被災地視察 関包スチール殿と閑上地区視察、翌日は平泉中尊寺拝観。

## 10.機種別専門部会

- (1) 鍛造プレス専門部会 (部会長・岡田博文理事／栗本鐵工所 2回開催)  
鍛圧機械の海外規格・規制についてとモータ制御メーカの規制講演  
第4回部会 (7月31日) 機械振興会館において開催  
第5回部会 (11月13日) 機械振興会館において開催
- (2) 油圧プレス専門部会 (部会長・児玉正蔵理事／小島鐵工所 2回開催)  
油圧プレスの一般向け教育資料作成について  
第4回部会 (10月23日) 機械振興会館において開催  
第5回部会 (3月7日) 機械振興会館において開催
- (3) プレスブレーキ専門部会 (部会長・前田彰理事／村田機械 3回開催)  
レーザ式安全装置の普及パンフレットとプレスブレーキの用語規格  
第5回部会 (6月28日) 機械振興会館において開催  
第6回部会 (9月25日) 機械振興会館において開催  
第7回部会 (12月18日) 機械振興会館において開催
- (4) レーザ・プラズマ専門部会 (部会長・浜川善和理事／トルンプ 4回開催)  
レーザ加工機のMFエコマシン認証基準の作成とファイバー安全基準  
第4回部会 (6月14日) 機械振興会館において開催  
第5回部会 (10月11日) 機械振興会館において開催  
第6回部会 (12月4日) 機械振興会館において開催  
第7回部会 (2月13日) 機械振興会館において開催
- (5) 自動化・安全装置専門部会  
(部会長・三須肇副会長/理研オプテック 2回開催)  
自動化装置の安全要求事項の工業会規格PRパンフレット作成  
第4回部会 (6月19日) 機械振興会館において開催  
第5回部会 (12月5日) 機械振興会館において開催
- (6) サービス専門部会 (部会長・相澤邦充理事／相澤鐵工所 7回開催)  
バルブの交換実績時期の明示。  
第4回部会 (7月13日) 機械振興会館において開催  
MFスーパート自検制度創設により、従来の特自検でチェック出来ない、  
ユーザや機械の安全をチェックし提言する制度を策定する。  
MFスーパート自検策定チーム  
(チーム長・瓦井雅和/アイダ、6回目から峰山隆樹/アマダ)  
第1回 MFスーパート自検策定チーム (8月29日) 機械振興会館にて開催  
第2回 MFスーパート自検策定チーム (9月26日) 機械振興会館にて開催  
第3回 MFスーパート自検策定チーム (11月7日) 機械振興会館にて開催  
第4回 MFスーパート自検策定チーム (12月19日) 機械振興会館にて開催  
第5回 MFスーパート自検策定チーム (2月5日) 機械振興会館にて開催  
第6回 MFスーパート自検策定チーム (3月18日) 機械振興会館にて開催

## 11.関東・中部・関西地区部会

- (1) 関東地区部会(部会長・内田百馬理事／オリイメック 中小委と合同で1回開催)  
(11月16-17日)
- (2) 中部・関西地区部会(部会長・阿比留憲史理事／旭精機工業 中小委と合同で1回開催)(11月16-17日)

## 12.その他の事業

- (1) MF 技術大賞表彰式 (1月 11日) 芝パークホテルにおいて開催
- (2) 2013年新年賀詞交歓会(1月 11日) 芝パークホテルにおいて開催。

### III. 会員異動状況

#### 1. 会員の入会・退会について

会員退会

1. コマツ NTC 株式会社 (2013年 3月 31日付退会)

会員入会

なし

翌期会員入会(3月 22日理事会承認)

1. 株式会社 吉野機械製作所 (2013年 4月 1日付入会)

代表者 吉野 有信 代表取締役社長

会員代表者 吉野 有信 代表取締役社長

2. 株式会社 板屋製作所 (2013年 4月 1日付入会)

代表者 板屋 一郎 代表取締役社長

会員代表者 板屋 一郎 代表取締役社長

3. 大峰工業株式会社 (2013年 4月 1日付入会)

代表者 安川 勝 代表取締役社長

会員代表者 安川 勝 代表取締役社長

4. タガミ EX 株式会社 (2013年 4月 1日付入会)

代表者 田上好裕 代表取締役社長

会員代表者 田上好裕 代表取締役社長

5. 日本スピンドル製造株式会社 (2013年 4月 1日付入会)

代表者 三島 守 代表取締役社長

会員代表者 有藤 博 取締役産機事業部長

以上により 会員 2012年 3月 31日前期末 79 社

2012年 4月 1日当期初 79 社

2013年 3月 31日当期末 78 社

2013年 4月 1日翌期初 83 社

#### 2. 社名変更について

旧社名 日本電産キヨーリ株式会社

新社名 日本電産シンポ株式会社(2012年 4月 1日付)

翌期社名変更届受領 (2013年 4月 1日付届出)

旧社名 住友重機械テクノフォート株式会社

新社名 住友重機械工業株式会社(2013年 4月 1日付)

#### 3. 会員代表者の変更について

1. 株式会社 IHI (2012年 4月 1日付届出)

旧会員代表者 吉田 詠一 執行役員 産業・環境副セクター長

新会員代表者 村井 一郎 執行役員 産業・環境副セクター長

2. 蛇の目ミシン工業株式会社 (2012年 4月 3日付届出)

旧会員代表者 折井 章 常務執行役員 研究開発本部長

新会員代表者 斎藤 真 執行役員 研究開発本部長

3. 株式会社大阪ジャッキ製作所 (2012年 4月 3日付届出)

旧会員代表者 相原 真爾 代表取締役社長

新会員代表者 相原 伸展 代表取締役社長

4. 株式会社松本製作所 (2012年4月16日付届出)  
旧会員代表者 松本 忠重 代表取締役社長  
新会員代表者 松本 吉正 代表取締役社長
5. 日本電産産シンポ株式会社 (2012年5月15日付届出)  
旧会員代表者 重富 邦夫 代表取締役社長  
新会員代表者 假屋 晃生 代表取締役社長
6. ロス・アジア株式会社 (2013年1月1日付届出)  
旧会員代表者 濱田 修三 顧問  
新会員代表者 白井 透 マーケティング部ディレクター
7. 日本オートマチックマシン株式会社 (2013年1月30日付届出)  
旧会員代表者 岩崎佐登志 代表取締役社長  
新会員代表者 水野 雅文 代表取締役社長

翌期会員代表者変更届受領

1. コマツ産機株式会社 (2013年4月1日付届出)  
旧会員代表者 岡田 正 代表取締役社長  
新会員代表者 橋口 玲 代表取締役社長
2. 日本電産シンポ株式会社 (2013年4月1日付届出)  
旧会員代表者 假屋 晃生 代表取締役社長  
新会員代表者 西本 達也 代表取締役社長
3. アイダエンジニアリング株式会社 (2013年5月17日付届出)  
旧会員代表者 片岡 博道 取締役常務執行役員  
新会員代表者 八木 隆 取締役常務執行役員

#### 4. 特別顧問委嘱について

武井 栄二 特別顧問委嘱 アイダエンジニアリング株式会社取締役専務執行役員  
(2012年9月15日付)

八木 隆 特別顧問委嘱 アイダエンジニアリング株式会社取締役常務執行役員  
(2013年3月22日付)

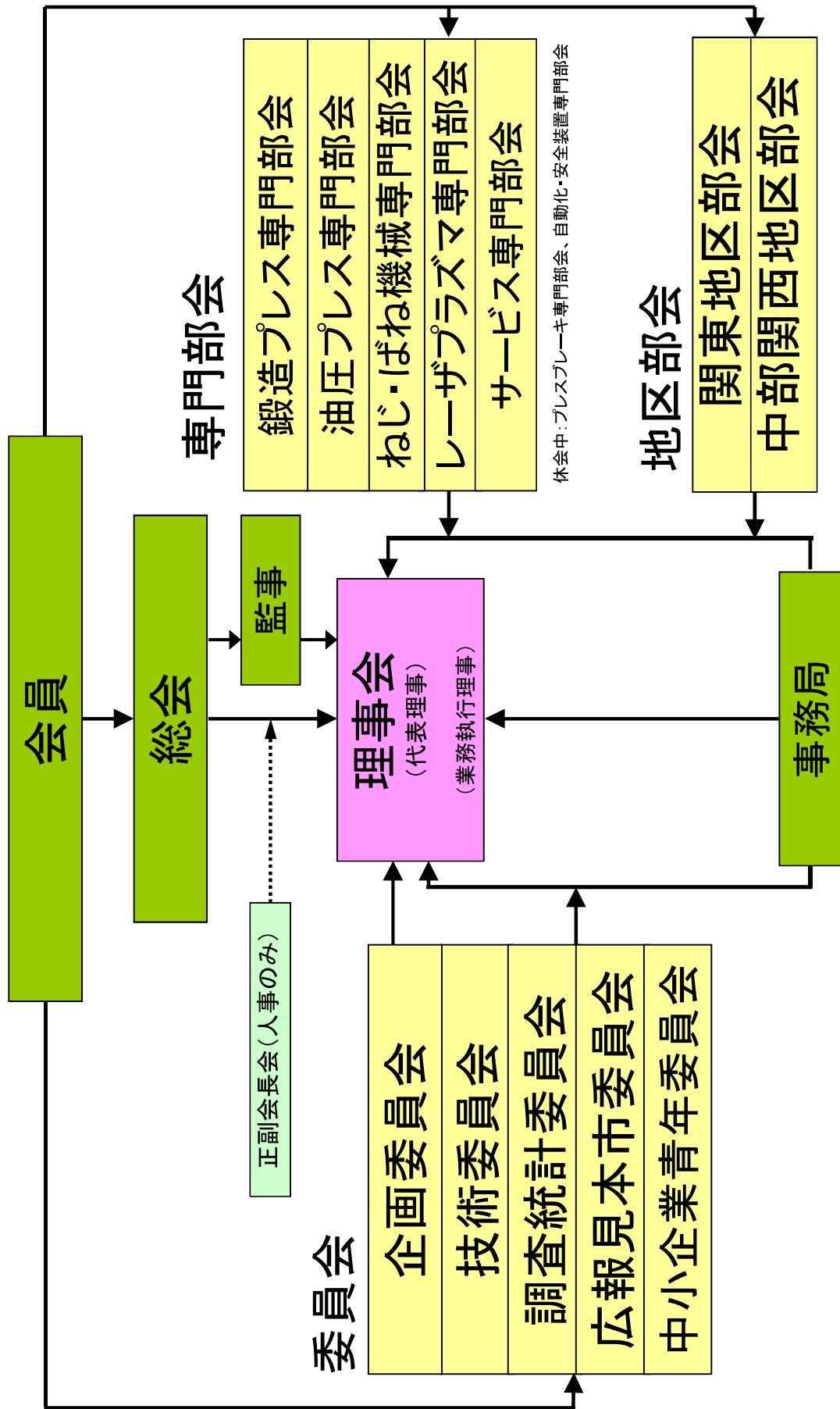
#### 5. 役職辞任について

武井 栄二 特別顧問辞任(2013年2月28日付)

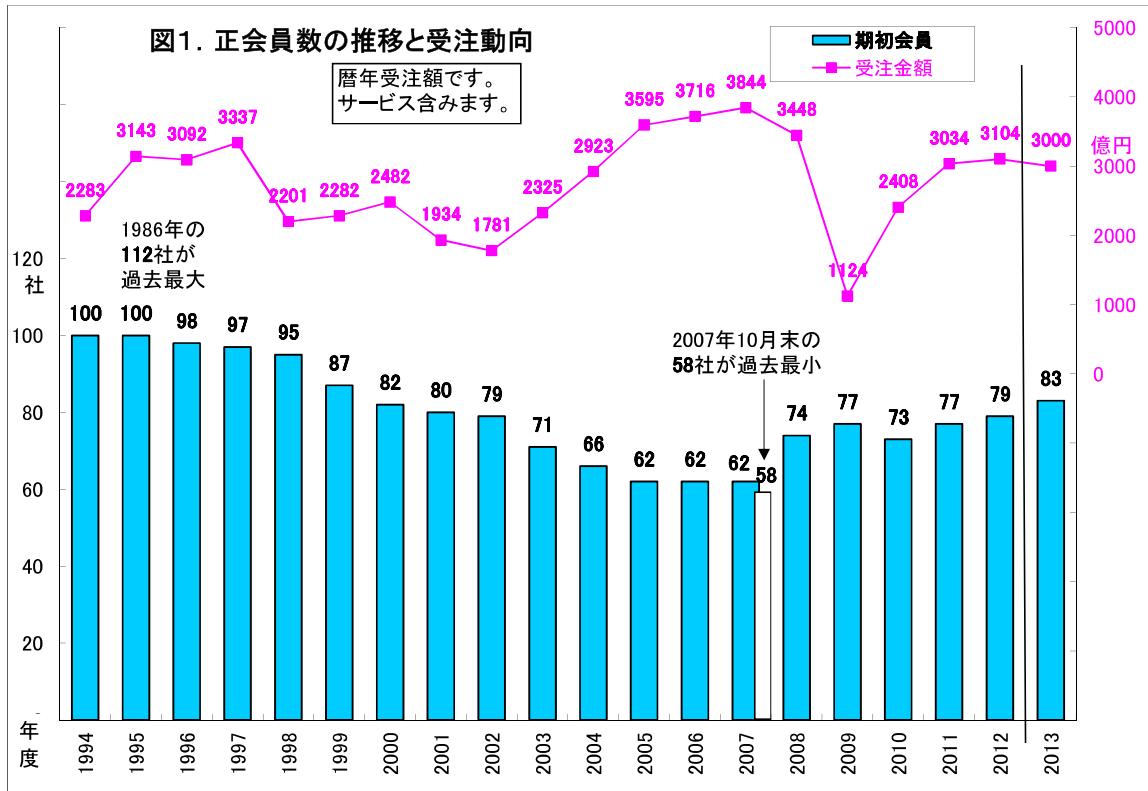
以上

総会・理事会による工業会運営		回数表示は総会・理事会は全通算表示、委員会は2年任期通算表示です。	
会員会	理事会	原則一木曜日	原則一木曜日
会員会 総会 (総説・表彰)	理事会 正副会長 (人事のみ)	企画 委員会 通常	企画 委員会 通常
高齢会員 4月 月	高齢会員 4/10会計監査 4/17苦面理事 決算承認	正副会長 4/18 ④金沢 産業ビデオ	正副会長 4/18WG1委12 規格案 審査大賞発表
5月 月	5/17定期会議 会場・会員登録表	5/17正副会議 決算承認	5/18WG1委12 規格案 審査大賞発表
6月 月	6/7正副会10 書面;職員人事	6/12正副会10 議事記更新追加	6/14④ ファイバー規格
7月 月	7/26理事会18 海外補助企11	7/19③ ISO、Redis 規格案大賞発表	6/28⑤ 安全ハンドブック
8月 月	9/47大山 産業ビジョン	7/31 ISO、Redis 規格案大賞発表	7/11③ 受注率測定修正 7/31① 規制一覧
9月 月	9/20書面理事会19 WG1コシナ15% 10/1甲関版決算	9/6⑤大山 産業ビジョン	7/2006年チーム① LSUIT 規制開始
10月 月	11/6理事会30 会員登録承認	9/47備部会① 6点審査 WG1委員会 選考委員会	8/2危険情報 検討会① ISO/SC10規格 ISO/SC10規格 10/23危険情報 検討会② ISO/SC10規格 10/29 6点 審査
11月 月	11/7正副会11 会員登録承認	11/8⑥ 産業ビジョン 国際規格	9/11WG1委14 11/21講習会 11/28WG12 危険情報規制 議事録検討 12/11WG1委15 報告会 審査
12月 月	11/11定期会 会員登録承認	11/21④ 国際規格	11/13⑤ 規制一覧 11/20WG-Tokyo 募集新切 12/6③ 2013予想 WG-Tokyo運営 審査
1月 月	1/11定期会 会員登録承認	2/4正副会12 新居浜 産業ビジョン	12/12④ WG-Tokyo 運営 12/18⑦ レーベル式の用語 審査
2月 月		2/16正副会12 新居浜 産業ビジョン	2/13⑦ ファイバー規格 最終締切
3月 月	3/22理事会21 (懇親会)	2/27JIS分科会 会員登録承認	2/21WG1委16 2/25国際会議 狼煙アート外 3/12エコ審⑩ 実績と新規
4月 月	4/9会員登録 会員登録承認 4/16理事会22	3/27 JIS分科会 会員登録承認	3/7⑤ 人門教育資料 3/19 出展者説明会 会員登録承認
5月 月	5/17定期会 会員登録承認 5/17理事会23 会員登録承認	4/12 JIS分科会② WG1委17 ブレス安全	3/18スケル 特自檢⑥ 5/14スケル 特自檢⑦

## 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 会員と組織図



## 2012年度事業報告と2013年度事業計画の説明資料(20年間推移グラフ)



歴代会長と専務理事

年度	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
会長	天田									御子柴			鈴木	春山	高瀬	八木	(案)				
専務理事	黒田				長谷見					佐藤			松本					(案)			

図2. 会費収入と収入総合計

